

規 格

新規に制定、または改正発行されたISO、JISをご紹介します。

●ISO 16539:2013

Corrosion of metals and alloys-Accelerated cyclic corrosion tests with exposure to synthetic ocean water salt-deposition process- "Dry" and "wet" conditions at constant absolute humidity

本規格はISO/TC156/WG7において日本提案により制定されたISO規格で、普通鋼からステンレス鋼までの幅広い耐食性範囲の材料に対して、大気環境で発生する形態に近い腐食を短時間に発生させる腐食促進試験方法が規定されている。人工海水を定量付着させた試験片を絶対湿度を一定にした状態（実環境を模擬した状態）で、乾・湿の雰囲気にとらすことを特長としている。ステンレス鋼用のA法、普通鋼用のB法の2種類の試験法がある。

●ISO 23160:2011

**Watch cases and accessories -- Tests of the resistance to wear, scratching and impacts
(時計のケース及び附属品-摩耗、擦過及び衝撃に対する耐性の試験)**

ISO/TC114/SC6によって改正審議され、時計のケース及び付属品の耐摩耗性試験に、往復平面摩耗試験（当社スガ摩耗試験機NUS-ISO3型（60DS/min）該当）が規定されている。

●JIS A 1415:2013 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

本規格は、高分子系建築材料でプラスチック及び/又はエラストマーからなる材料を対象とした実験室光源（キセノンアークランプ、オープンフレームカーボンアークランプ及び紫外線カーボンアークランプ）による暴露試験方法について規定されている。旧規格（1999年版）に規定されていた光源の中、紫外線蛍光ランプが削除された。またメタルハライドランプ光源の規定は見送られた。

●JIS Z 8720:2012 測色用の標準イルミナント（標準の光）及び標準光源

本規格は、2005年に発行されたISO 23603を基にして改正された規格で、物体色の測色に用いる標準イルミナント（基準の光）及び補助標準イルミナント（補助標準の光）並びに標準光源及び常用光源について規定。これによりJIS Z 8720:2000は改正され、この規格に置き換えられた。また付属書には、常用光源の分光分布の評価方法として条件等色指数の求め方が規定されている。

●JIS Z 9096:2012 床面に設置する蓄光式の安全標識及び誘導ライン

本規格は、2012年に新規に制定された規格で、建物からの避難を容易にする為屋内及び建物につながる屋外の床面、階段、壁面に設置する蓄光式の安全標識及び誘導ラインについて規定されている。性能についてりん光材料の昼間の色、耐候性、耐衝撃性、耐水性、耐燃性、耐湿性、耐拭取り性、表面印刷の付着性、りん光材料の最低りん光輝度、粘着力、耐摩耗性、耐薬品性、曲げ強度、すべり抵抗、凍結融解性、対汚染性について試験方法が規定された。耐候性では、サンシャインカーボン試験、デューサイクルサンシャインカーボン試験に加え、キセノン試験（60W/m²）と高照度キセノン試験（180W/m²）が規定された。